チャレンジデーで元気に運動する皆さん

平成27年度施政方針

大村の特性を最大限に活かしたまちづくり

3月2日に開かれた市議会定例会で、松本崇市長は平成27年度の市政運営の基本姿勢を示す**「施政方針説明」**を発表しました。

今回は、平成27年度に重点的に取り組む5つの施策と主な事業をお知らせします。

▼施政方針説明（要旨）

社会を取り巻く環境は、少子高齢社会の急速な進展によって本格的な人口減少社会を迎え、都市機能の低下や社会保障費の増大など、厳しい状況にあります。

本市は、県内13市で唯一人口増加を続けておりますが、将来は人口減少に転じることが予測されております。

このため、本市の特性を最大限に活かした、地方創生の総合戦略策定に取り組むとともに、**「子育て支援の充実と高齢者に優しいまちづくり」**、**「地域資源を活かしたにぎわいのまちづくり」**、**「快適で住みやすいまちづくり」**などの重点施策を柱として、更なる飛躍に向けた都市戦略を推進してまいります。

放虎原こども園での様子

こども未来館で楽しく遊ぶ子どもたち

重点的に取り組む施策

子育て支援の充実と高齢者に優しいまちづくり 1

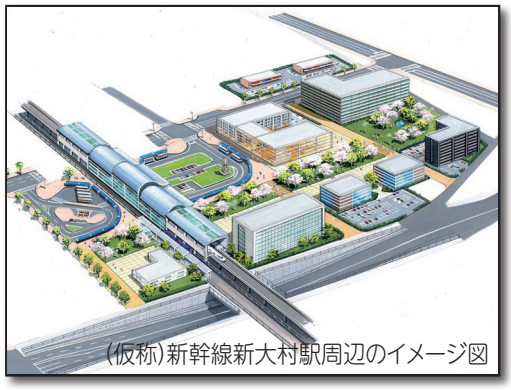
- 医療費助成の小学校までの拡大や、障害児の一時預かりを実施する保育園を増やすための助成拡大
- 流産などを繰り返す「不育症」の治療費助成や、第3子以降の新生児を出産した人への「出産祝い金」支給などの新たな支援
- 認知症に関する相談などにワンストップで対応する「認知症総合相談センター」の開設
- 75歳以上の高齢者に対する公共施設使用料の無料化、介護保険認定を受けていない70歳以上の高齢者への市内路線バス利用料の一部助成

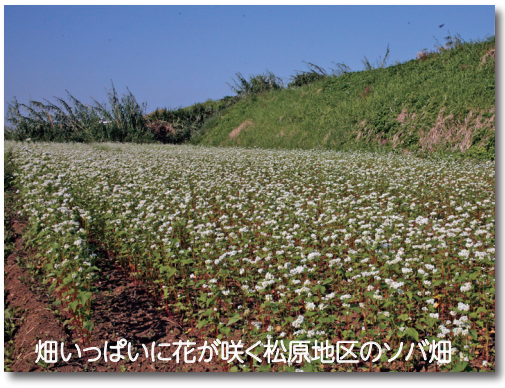
地域資源を活かしたにぎわいのまちづくり 2

- 旧大村浜屋ビルの都市機能集約型複合ビルとしての年次的な整備
- 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録推進活動に併せた、市内キリシタン史跡への4か国語看板の設置

今年1月、旧大村浜屋ビル1階に「国際交流プラザ」がオープン。今後、1階にはカフェや商業施設、2階には高齢者・障害者センターや地域医療サポートセンターなどを整備していきます。

池田湖公園のサクラ並木


(仮称)新幹線新大村駅周辺のイメージ図


畑いっぱいに花が咲く松原地区のソバ畑

快適で住みやすいまちづくり 3

- 県内で唯一採択された「都市再構築戦略事業」の制度を活用した(仮称)新幹線新大村駅周辺や車両基地周辺などを拠点とする「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の推進
- 国道34号大村・諫早間4車線化の新規事業採択に向けた積極的な要望活動

次世代へと続く力強い産業づくり 4

- 新工業団地整備に向けた実施設計、(仮称)産業支援センター開設に向けた創業支援や経営相談を行う産業支援コーディネーターの育成
- 大村産長崎和牛の優良飼育素牛導入に対する助成や肥育技術の向上、6次産業化に向けた松原そばの商品開発や体験型イベント開催の支援
- 安定した漁獲量の確保を目的とした漁礁整備のための環境調査

未来へ飛躍する人材の育成 5

- 市内全小・中学校の普通教室へのデジタルテレビ導入による、ICT(情報通信技術)を活用した学力向上の推進
- 国際交流プラザを中心とした交流促進による、国際感覚を持つ人材の育成
- 県立・市立一体型図書館の開館に向けての設計着手

絵本をうれしそうに手に取る子どもたち

モーターボート競走事業

- ボートレース場のイメージを一新する、コンパクトで明るく開放的な空間づくりやユニバーサルデザインに基づく整備
- SGレース「ボートレースオールスター競走(笹川賞)」の開催や、更なる場外発売場の開設による増収の確保

市立大村市民病院の建て替え

- 回復期リハビリテーション病棟の拡充や、心臓血管病センターの機能集約による医療面の更なる充実
- 広々とした空間づくりやプライバシー保護など、快適な環境を備えた病室整備による、地域医療の中核となる病院の建設

ボートレース大村新スタンドのイメージ図

長崎街道大村宿ひなまつりオープニングイベントの様子

主な新しい取り組み

第3子以降出産祝い金事業

少子化が進行する中、第3子以降の新生児を出産した人に対して、お祝い金を支給します。

医療費助成の小学生までの拡大

子育て世帯の支援を更に充実するため、未就学児までを対象としていた医療費の助成を、小学校卒業時までに拡大します。

高齢者ふれあいバス社会実験事業

高齢者の積極的な社会参加と健康づくりを推進するため、介護保険の認定を受けていない70歳以上の高齢者を対象に、市内路線バスの利用料の一部を助成します。

飲食店バリアフリー改修事業

障害者や高齢者の社会進出を促すため、市内飲食店などが行う、誰もが使いやすいトイレの設置や出入り口の改修工事などに対し助成します。

ピロリ菌検査の実施に係る費用の助成

胃潰瘍や胃がんなどの原因とされるピロリ菌の検査にかかる費用を助成します。

農産物加工品開発に係る費用の助成

耕作放棄地などで栽培、加工した「松原そば」のブランド化を目指し、販路拡大や加工機器の導入に要する費用を助成します。

骨髄移植ドナー支援事業

骨髄ドナー登録者の増加を図るため、骨髄や末梢血幹細胞を提供するための検査や入院をされる人に対し、県内で初めて助成します。

小・中学校教育用ICT機器活用事業

市内の全小・中学校の普通教室にデジタルテレビを導入し、授業改善による学力の向上を図ります。

これからも、「市民が主役」、「対話の市政」を基本に、「日本でもっとも住みたくなるまち」を目指し、全力で取り組んでまいります。

※施政方針の全文は、市ホームページに掲載しています。

■企画調整課（内線244）